

特殊詐欺事件の発生について

1 認知日

令和8年2月18日（水）

2 発生日

令和8年2月4日（水）ころから2月17日（火）ころまでの間

3 被害品

電子マネー 合計232万円相当

4 被害者

和歌山市内居住の80代男性

5 状況

令和8年2月4日、被害者が自宅でパソコンを操作中、突然、パソコンがロックされ、画面には「ウイルスに感染」等といった内容と電話番号が表示されました。

被害者が電話すると、外国のソフトウェア会社の関係者を名乗る者から、片言の日本語で「パソコンを復旧するので、費用を支払ってほしい。」等と言われ、パソコンの復旧には費用が必要であると信じ、指示されたとおり、近くのコンビニエンスストア等で電子マネーを購入して、その番号を電話で相手に伝えました。

その後も、相手から「追加の復旧費用を支払ってほしい。」等と言われる都度、同じように電子マネーを購入し、2月17日までの間に50回以上、少なくとも合計232万円分を購入して番号を電話で相手に伝えました。

本日も相手から追加費用を請求されたため、金融機関で資金を引き出していたところ、職員から「詐欺に遭っているのではないか」と指摘され、だまされていたことに気付き、当署に被害を届け出たものです。

6 その他

和歌山県警察では、

特殊詐欺被害防止専用フリーダイヤル

その話ホンマに大丈夫？かけて損なし『ちょっと確認電話』

電話番号 0120-508（これは）-878（わなや）

を開設（24時間）しています。

見知らぬ人から「友達申請」や「電子マネーを買って番号を教えて」、「キャッシュカードを渡して」、「保険料を還付します」といったことを電話やメール、SNSで受ければ、すぐにちょっと確認電話にて確認してください。